

2018年10月29日発行

Vol.80

# ろ ん ど

長崎県音楽連盟事務局

〒850-0056 長崎市恵美須町4-5  
NBC第3ビル2F

Tel.&amp;Fax095-820-1081

ホームページアドレス <http://www.n-rond.jp>メールアドレス [nma@onyx.dti.ne.jp](mailto:nma@onyx.dti.ne.jp)

9月24日 マダム・バタフライフェスティバル2018秋 ～イタリアからの風～ 於：ブリックホール

## 聴くオペラ、観るオペラ、魅せるオペラ

それにしても、演出が少し加わるだけで、演奏会はその楽しさをぐんと増し、感動的なステージが出来上がるということ、観客の皆さんとともに実感できた、今年のマダム・バタフライフェスティバルでした。(平成30年9月23日～24日ブリックホール)

今回はゲスト歌手として、韓国のキム・ジョンキュさん、中国のハオ・シンワさん、日本の岡田尚之さんの3人のテノール歌手に加え、イタリアルッカ市のジリオ劇場から推薦をいただいたソプラノのアントネッラ・ビヨンドさんをお迎えしました。さらに、地元長崎からも弦楽器奏者やピアニストが参加してのコンサート。4人の歌声が素晴らしかったのはもちろんですが、指揮とピアノ伴奏もしてくださった佐藤正浩先生の構成と演奏が圧巻で、さらに、佐藤先生ご推薦の演出家、飯塚励生さんの演出は、ほんとうに見事なものでした。基本的にはブリックの備品しか使えない、リハーサルも1日しかない

という制約の中で、照明の工夫、花道の使い方、ちょっとした小道具、ピンスポの当て方、ステージ後方に山台や星球を仕込んで演出をすることで、オペリアは、人間ドラマへと生まれ変わっていきました。まさしく、聴く・観るオペラから、魅せるオペラへと変わった瞬間でした。

ブリックホールでの演奏会の前には、4人の歌手それぞれが、新たに誕生した新県庁舎の8階展望フロア、長崎市内の文化施設である、出島、大浦天主堂、オルト邸での出前コンサートに出演。オペラの楽しさが、街中にも広がりました。2日間にわたってホール全館で開催された「たのシックフェスティバル」と合わせ、初秋の長崎は基本的にはブリックの備品しか使えない、リハーサルも1日しかないという制約の中で、心地良い音楽に包まれました。

(運営委員長 堀内伊吹)